

景況実感調査(2015年4月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 薄板市況は、ユーザーからの値下げ要求が強く、販売競争の影響による市場価格の値下がりが強まってきた。
- ② ホットEG、酸洗の2品種において値崩れが起きており、今後の市況に影響すると思慮する。(外国材の動向も注視) 全体感として買い控えのため、荷動きの停滞があるのではないか。
- ③ 対前月比での稼働日は1日減(5%減)、売上は10%弱減となった。やはり、日足での売上数量、金額ともに足下は弱く、当用小口の商況を脱しきれない。機械設備メーカーによると、省エネ補助金(50%支給)対象のA類、B類ともに4月21日をもって受付終了となり、新規導入設備計画はほぼこの補助金物件のみという。更新がほとんどで、いかに先行きの需要予測がネガティブかが窺える。夏以降は、オリンピックや震災復興、箱物も出て来ると思われるが、第1四半期での大きな変化は望み薄か。
- ④ この4～6月は過去にない低水準な荷動きとなりそうである。店売りの縮小に、この薄板三品在庫から見て取れる供給過多が追い打ちをかけて、市況下落が起こることが予想される。
- ⑤ 同業者として常識を逸脱した単価で販売をするコイルセンターが数社見受けられる。

中板

- ① 建築関係の落ち込みが回復せず、低調な商いが続く。

厚板

- ① 大きな変化は無い。価格も変化なく低調だが今後の動きに期待したい。

一般形鋼

- ① 人手不足で、先行き現場はあるが取りに行くことが出来ない状況である。
- ② 今月に入り荷動きが緩慢化し出したが、売上高、粗利益状況はほぼ想定通りの結果となった。来月は、今月より2日営業日が少ないので、現況続行となれば厳しい月次決算となりそうだ。販売姿勢の転換が必要になる。

HI形鋼

- ① メーカーは価格据え置きを発表。市況は弱めとなっているが、前月同様、価格の維持に努める。
- ② メーカー対応の不透明さが、ここにきて顕著になってきた。改善されないこの状況が続くと思われる。

異形棒鋼

- ① メーカーは減産にて市況維持に努めているが、販売不振もあって一部流通に販売競争が起きている。市況じり安で採算がさらに悪化。
- ② 4月は動きが鈍かった。5月は稼働日が18日と少ない。量的には厳しい。メーカーが踏ん張っているため価格は下がっていない。

平鋼

- ① 荷動きは相変わらず横這い。一部でまとまった在庫補充も出始めているが、回復したというレベルではない。連休前の駆け込み需要も無く落ち着いている。価格は引き続き弱含んでいるが、底値感も出てきたように感じられる。本格的な需要回復は秋口以降の建築需要に期待する。
- ② 暇すぎる。車も少ない気がする。仕事が出て来るのは夏からか。

車量開形鋼

- ① 一部製品が、対前年比、対前月比もアップした。それが原因で全体数量を押し上げた。

鋼管

- ① 荷動きは3月から変化なく、低調に推移。6月以降の引合いは増えてきつつある。

構造用鋼

- ① 需要動向については、全体的な基調に変化なく、自動車関連部品は一部メーカーでは生産調整が続いている。建設機械関連は、大型機種向けが依然として振るわず、中小型機は調整局面となっており、先々も不透明である。工作機械は比較的堅調に推移している。店売りの荷動きは全体的にやや鈍い状況が続いている。市況については、弱含み横這いで推移している。市中在庫は、ほぼ適正水準となっている。

鋼材一般

- ① 3月より4月は20～25%以上荷動きが悪い。例年4、5月は出が悪いが、予想以上に今年は悪い。ただし、多少6月頃の引合いも出てきており、本格的に動くのは6月以降と思われる。全てに一服感がある。

その他

<曲げ加工>

- ① 今月中頃まで稼働率が悪く、後半になってやや動きはじめた感じである。まだまだ中小企業にまで浸透していないオリンピックに関する見積りの話がようやく出始めたが、実際には決定的なものは来年度になるとと思われる。

<スクラップ>

- ① 依然としてスクラップの発生が落ち込んでいる。若干価格は上昇したものの、今後はどうなるのか分らない。

<金属表面処理加工>

- ① 4月からリプレースのためライン停止にて、協力会社にて対応中。紐付き、物件物を中心に計画通りの操業となったが、スポットが約10%程度減少となる。中旬以降は、引合いも活発なことから現状の高操業状態がしばらく続きそうである。